

第1回加西市子ども・子育て会議

日時：平成25年9月30日（月）
18時02分～19時29分
場所：加西市役所1階多目的ホール

1. 開会

2. 市長挨拶

加西市は平成19年に5万人を割りました。現在4万6,500人を割る状況になっています。全国的な少子高齢化の流れですが、中でも加西市のスピードが速く、子どもたちの人数も近隣に比べて少ない状況であります。その状況を何とかしたいということで、5万人都市の再生をめざして頑張っております。子どもたちが健やかに育つため、また安心して出産していただけるよう施策を講じていますが、なかなかそれが人口に好影響を与えていない状況です。しかしながら、講じた施策は時間はかかりますが、効果を発揮してくるものと思っております。道半ばの状況ではありますが、引き続き頑張っていきたいと思っております。

子育ての施策を充実させることは、市民の皆さんの暮らしやすい、加西に住みたいという思いをかなえる最も重要な施策の一つと思っております。その施策の中で、子ども・子育て会議ということで、皆さんのお世話になります。これからの計画をつくることでありまして、5回程度の会議を開催しますので、それぞれの立場から活発なご意見をいただきたいと思っております。

平成24年に国で子ども・子育て関連3法が成立しております。平成27年度から本格的に、子ども・子育ての新制度がスタートします。そのスタートに向けて国では制度設計、作業等が進められているところです。そして、本市におきましてましても、国の動きに呼応し、1期5年間という加西市子ども・子育て支援事業計画を来年の秋までに策定したいと考えているところです。そして、この会議の中でご議論いただくことについては5点ございます。

1つは幼稚園、保育園、認定こども園を利用定員についてご意見をいただきたいと思っております。

2つ目に、特定地域型保育事業と呼ばれる5人以下の家庭での保育、そして6人以上19人以下の小規模保育や、事業所保育等の利用についてご意見をちょうだいしたいと思っております。

3つ目に、この事業計画の策定、変更についてのご意見をいただきたいと思っております。

4つ目は、この計画の実施状況について、調査、審議を行っていただきたいと思っております。

5つ目は、子ども・子育て支援に関する施策において必要と認められることについて、調査審議いただくことをお願いしたいと思っております。

加西市の子どもたちの健やかな成長のために非常に重要な計画ですので、遠慮せず、普段考えておられることをそのまま率直に述べていただければと思います。子どもを育てる環境をよりよくしていく、子どもたちの健やかな成長を確保していくことによって、加西市が住みやすい、5万人の都市になると私は願っております。開会にあたりお願いの挨拶といたします。皆さん今後ともよろしくお願ひいたします。

3. 委員・職員の紹介

4. 会長、副会長の選出

会長：田中委員、副会長：石野委員

5. 諮問

6. 議題（1）子ども・子育て支援新制度について

事務局説明

○会長

ただいまの説明で何か質問、ご意見はございますか。大きく国はこんな制度で今動いているということでもあります。先ほど来も、加西市にふさわしいシステムということを言われてますが、加西市独自に勝手にというわけにいきません。緩やかな法体系の中に位置づけながら加西市にふさわしいシステムをどうつくっていくか、そこが我々の検討のしどころと思います。

特にございませんか。今回は説明の時間を多くとらざるを得ませんので、全体的な視点について説明いただこうかと思いますが、次に進んでよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

議題（2）加西市の現状について

事務局説明

○会長

これらの数字の中に、加西市の現状、現実があります。そこに課題、問題点、何とか克服できるべき課題というのがどういうものがあるのか、そのためにはどんなシステムが必要なのか等々が、そのうちじわっと検討されていくようにも思います。加西市のこの現実を踏まえた上で、単なる情緒論、べき論ではなくて、現実を踏まえた上での生産的な意見の出し合いで、加西市における新しいシステム構築をしていきたいと思います。22 ページの数字は住民票をもとに正確にとっていただいているんですね。

○事務局 市外からお子さんを預かってる園もありますので、その人数も入ってます。

○会長

わかりました。基本的には住民票の数字ですので、大きな違いはないと受けとめたいと思います。2の資料でよろしいでしょうか。それでは、3番目のニーズ調査について事務局より説明をいただきます。

議題（3）「加西市子ども・子育て支援事業計画」の作成に向けたニーズ調査について

事務局説明

○会長

サンプル数、就学前児童が1,200通、小学生800通について、どのぐらいの比率でこの数字を考えますか。

○事務局

小学生については400、就学前児童についてはこの半分の600があればと。

○会長

例えば、この調査の対象とする小学生は全部で何名となりますか。

○事務局

後で回答させていただきます。

○会長

調査対象は全数ではないんですよね。

○事務局

全数ではありません。

○会長

全数が一番いいのかもわかりませんが、まあいいです。

それから、25、26頁にあるように、加西市独自のものではなくて国の調査票をベースに設計していると説明をいただきました。別紙1・2はカットも入り、字も大きく目にも優しいので、答えようかなと思います。これだけあると答えるのに心理的な負担感が高まるのかなと思います。

これはこれでお願ひせざるを得ませんので、ぜひこの趣旨をご理解いただき、精力的に丁寧にご項目にもご回答いただけるよう市長名でお願ひするわけですから、そういった市の誠意、趣旨を市民の方にお伝えし、ご理解、ご協力をいただく形が必要と思います。

細かいことは改めてということですので、全体としてのこのアンケートに関してご意見、感想なり頂戴できればと思いますが、いかがでしょうか。

○A委員

質問を2つお願ひしたいんですが、1つは24頁の調査の概要について、抽出方法、無作為抽出のところですが、具体的にどういうやり方で選ばれるんですか。

もう1つは、アンケート項目の7番、8番が回答用紙では省かれるようですね。7番は「子育てに日常的に関わるもの」、8番は「子育てに最も影響する環境」ということですね。これは国の調査票にもありますが、非常に簡単に答えられる項目です。なおかつ、これは私としては聞いたほうがいい質問だと感じるわけですが、これを省かれた理由をお願ひします。

○事務局

住民基本台帳のデータベースから、1,200世帯の就学前の児童の子どもがいる世帯だけに絞って、そこから機械が自動的に引っ張ってくるという形で打ち出しを行うこととなります。

○A委員

ソフトで、例えば人数を飛ばしたりとか、そうじゃなくて、全くアトランダムに1,200という数字が、就学前だったら出てくるんですか。

○事務局

システムのなところまではわかりませんが、要はどこかの部分に偏らずに均等にサンプリングする形をイメージしていただければと思います。

○A 委員

調査対象が偏ってしまうと、調査した意味が大きく損なわれるので、そのあたりを聞いたかったのです。

○事務局

7、8番の項目を省略した理由ですが、単に必須ではなかったということで省いております。そこはご意見いただき、修正していけばと思います。

○A 委員 たたき台と考えてよろしいですか。

○事務局 はい。

○A 委員 ありがとうございます。

○会長

先ほどの最初の質問と関連しますが、24頁に地域のニーズを的確に把握する必要があるため中学校区単位ということですね。加西市は中学校区は幾つですか。

○事務局 4つあります。

○会長 加西市全体で一括りしてやるというわけじゃないんですね。

○事務局 中学校区を最初に設定し、その中で無作為に選びます。

○会長 副会長、そのあたり大丈夫ですか。

○副会長 はい。

○会長

質問項目等については、お持ち帰りいただき、対照表で国の方も見ながら、ご意見、コメントをいただくことを次回までにご提案いただきましょうか。そのやり方でいいですか。間に合いませんか。

○事務局

少し間に合わないと思いますので、できましたら期限を切って、それまでにいただくことで、どうでしょうか。次回の開催日までは少し日程が開いており、また、今回は集計したアンケートを皆さんで見いただくことを予定にしています。

○会長

これを見ると10月の発送だから、このアンケートの内容について我々が練るということは、十分できないですね。

○事務局

ただ、委員の皆さんにはアンケートについてご意見をいただきたいと思います。

○会長

書面でそれを届けて、事務局で整理していくということですね。基本形は国のものをベースにすることはご理解いただいた。だから、部分調整。

○事務局

この項目が漏れているのでこれは入れるべきという修正をお願いしたいと。できる限り皆さんのご意見、意向を反映した形で修正していきたいと思います。

○会長

また、それぞれの意見をいただきましたら、会長、副会長と事務局で少しワークをさせてもらいましょうか。副会長よろしいですか。

○副会長

はい。

7. 会議のスケジュール

○会長

スケジュールについて説明いただきましょうか。私たちがどういう対応をしたらいいのかということも具体的にイメージしておきたいと思います。

○事務局

一番最後のページにスケジュールを掲載しています。上段が25年度、下段が26年度で、この会議は今日の第1回が9月30日、第2回目を1月の末に想定しています。それから、4月に入ってから3回ありまして、計5回の予定で開催を考えております。

アンケートの調査票は10月の中旬には印刷にかけたいと思っていまして、日付は未定ですが下旬には発送し、11月中旬に回収する予定です。その後、回答が戻り、データ入力と分析を行い、1月には、ある程度簡単な集計ができたところで、皆さんに見ていただこうと考えております。

○会長

わかりました。そうすると今10月中旬には印刷にかけたいと。それまでに本委員会で意見を出して、調査内容を確定しないといけませんね。アンケートの意見をいつまでに事務局に寄せたらいいですか。

○事務局

10月の11日までにはいただきたいと思います。簡単なシートを用意させていただきます。

○会長 それは、各人にファイルか何か、それとも紙媒体ですか。

○事務局 紙媒体でお送りします。

○B 委員

小学生用と就学前を書いてみたんですが、その中で、この書き方はどうだろうと思うものがありました。国との比較をしないとだめですか。

○事務局

必ずしも国のものをそのまま写す必要はなく、加西市に合う書き方に変更はできます。表現を変えるとか、選択肢を変えるとかそういう内容であれば。

○B 委員

何時から何時まで、何時30分があればいいのと思ったんですね。でも、それは国の方でもそうではないので。今ちらっと見て、30分単位で上げるとか下げるとか、その一言があれば書きやすいと思います。

○会長

これは国の例示というもので、緩やかに受けとめるという方がむしろいいというご意見で、視点を大きく外さなければ、表現上のこととか回答の仕方とか、そのあたりは変化をつけてもいいかなと思いますね。副会長どうですか。B委員さんどうもありがとうございました。

それから、発送してどのぐらい返ってくる、いわゆる回収数、回収率ですね。督促されますかね。配布したらたくさんの回収が欲しいですよ。だから状況により督促していく。その辺は計画してらっしゃいますか。

○事務局 実はこれを言うのは、ためらいがありますが回収率半分、50%と見えています。

○会長 50%

○事務局

先ほどの全数、サンプル数の回答も含め、今配布の資料をご覧いただきたいと思います。全世帯数がこの母集団というところになり、専門のコンサルに確認したところ、それぞれ就学前全体で1,800と小学生で2,300と見えています。回収率はこれまでの市のアンケートでみますと60%から50%。かなり答えにくいものだと思いますので、低い方の50%と見えています。

○会長

加西市のいろんな投票行動、例えば国政とか県とか市、その選挙投票率はどのくらいですか。

○事務局

選挙にもよりますが、市長選とか市議会議員選は高いです。前回の参議院議員選挙でいきますと、54%くらいです。

○会長

一般的に言われるのは、選挙の投票率と、アンケートの傾向とはそんなに大幅な差はなく、余り強気で回収率50%というと、投票率50%以上なければどうかなとも思いますので、再度アンケートへのご協力をお願いしますとお願いする方が、回収見込み数600だの400というときは必要かなという気もしないではありません。

○事務局 そうですね。

○会長

加西市民を信頼して、絶対答えてくれるという信頼関係も必要ですが、やはり必要数等々がありますので、事務局でご検討ください。

○事務局 わかりました。

○会長

ありがとうございました。本委員会5回ということで、早速次回、年が明けて、調査結果の報告であります。調査の分析にはコンサルが入り、ある程度統計的な整理をしての結果を示していただきます。そこから、どういう計画案を次年度に設計していくかということが我々の大きな課題と思います。本日、3点の説明を受けました。これら包括的に何かご意見等ございますか。

とにかく今日持ち帰りいただき、もう少し目を通しましょう。もし、ご意見なければ、事務局で追加すべき事項は何かありますか。

8. その他 次回日程 1月27日（月）18時

○会長

ご多忙と思いますが、精力的に意見を練り合わせて、加西市のスケジュール、デザイン、そういうものを調整していいものを作成していきたいと思います。これで終わりますでしょうか。事務局にお返しします。

9. 閉会あいさつ